



国際第一委員会

1st International Affairs Committee

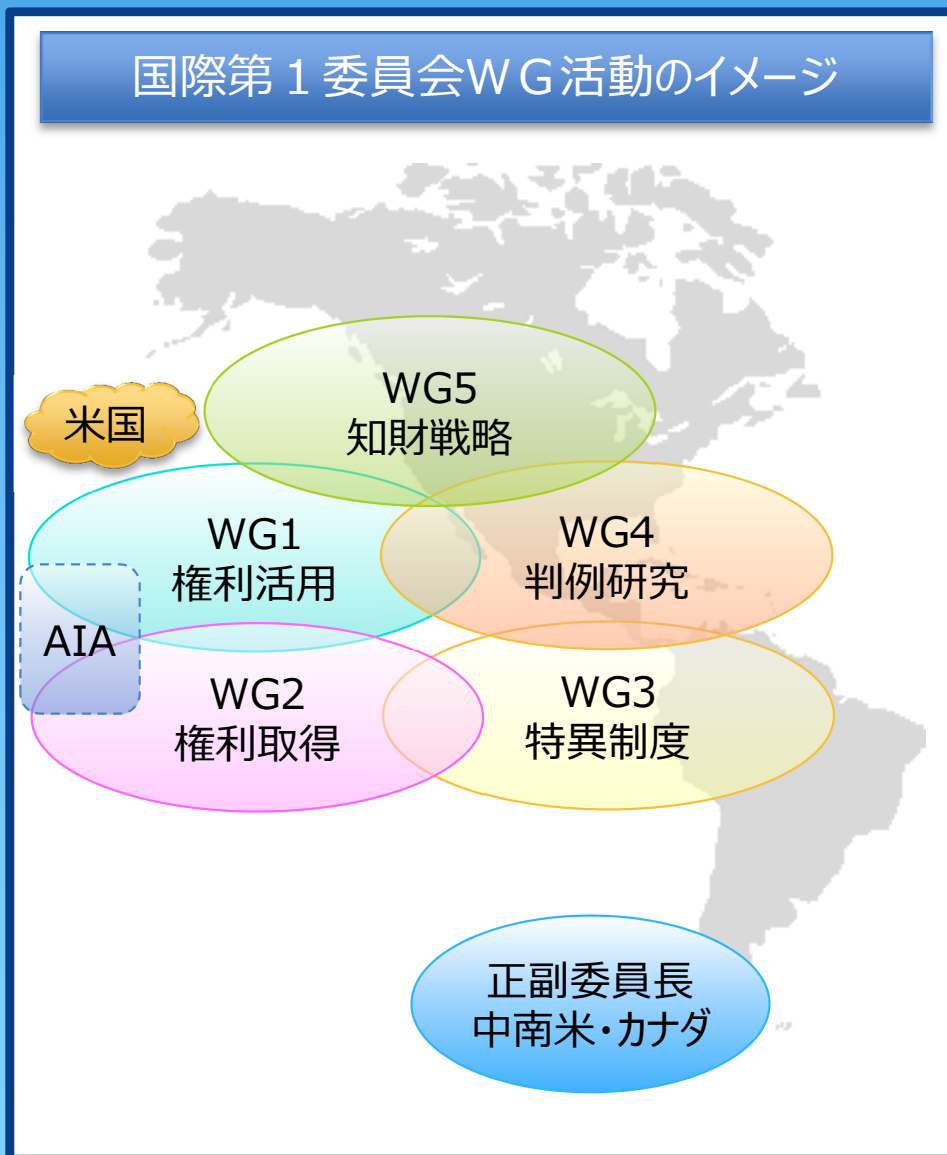
寺井 委員長 (日立製作所)
堤 委員長代理 (日産自動車)

■活動ポリシー：「楽しく学び、発信する」

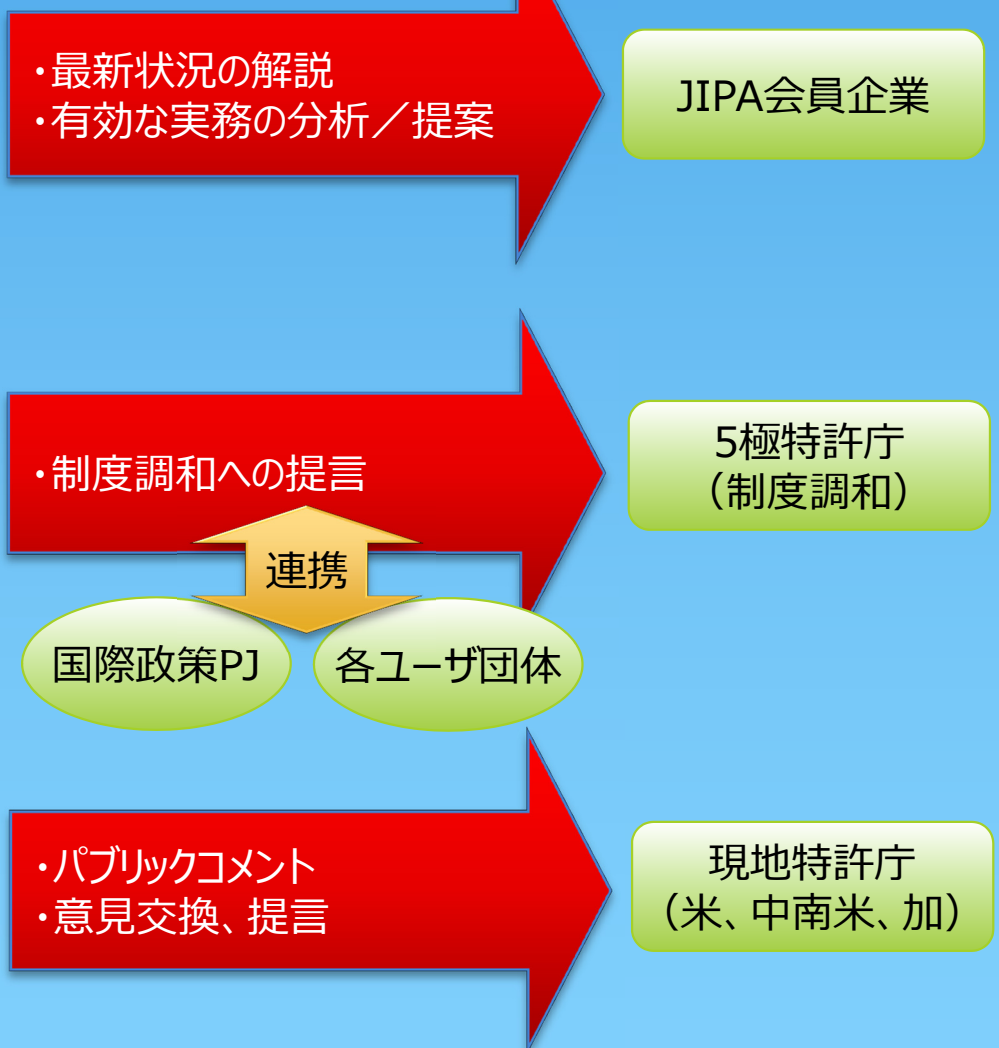
- (1) 活動のコアは、米州（米国、中南米、カナダ）の調査研究
- (2) 対外発信（JIPA会員企業、各国庁、5極庁(制度調和)）
- (3) 楽しく活動する

■活動内容

Working Group体制（各社メンバー52名で構成）

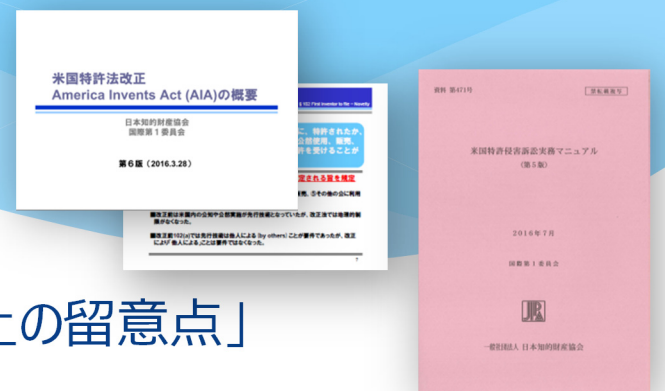


対外発信



■活動成果

- 外国特許ニュース執筆：米国主要判決分析/「知財管理誌」
- 論説執筆：研究成果を「知財管理誌」に投稿/掲載
- 知財協資料発行：「米国特許侵害訴訟実務マニュアル」
「米国特許クレーム解釈の動向と実務上の留意点」
- 法改正(AIA)の周知：JIPA HPへの資料掲載、研修講師



■ Working Group活動

WG 1

臨時研修

米国特許侵害訴訟実務マニュアル(第5版)の解説

臨時研修実施

【狙い】

初版発行から25年。改訂第5版の臨時研修を通して、実務者観点による重要ポイントの解説と実務ノウハウを提供

【項目】

- ・最新統計データを反映
- ・改正特許法(AIA)、連邦民事訴訟規則(FRCP)改正、重要判例等に対応
- ・特許無効化(8章)、PAE(11章)等の新設章の解説、他

【メンバー】 山羽(昭和電工),池嶋(パナソニックIPマネジメント),兼広(持田製薬),岸田(ソニー),斎藤(三井化学),高野(カシオ計算機),津田(ダイキン工業),野口(協和発酵キリン),山代(ブラザー工業),▼堤委員長代理(日産自動車)

WG 2

審判手続きの有効活用法の検討

知財管理誌へ論説投稿予定

【狙い】

RCEの繰り返しによる審査長期化、高額化に対し、審判手続きを有効に活用して効率的に権利化する方法を検討

【項目】

- ・本審理まで突入せずに拒絶が解消される審判のルート、および事例を分析し、分析結果に基づき、効率的な権利化方法を検討
- ・新規Pilot(P3Program)に関するパブコメを提出

【メンバー】 沖川(日立金属),和泉(富士ゼロックス),大脇(富士フイルム),隈原(富士ゼロックス),桑野(テルモ),中川(アークレイ),菱川(キヤノン),堀江(ブリヂストン),南(ヤマハ),吉田(ソニー),▼岩田副委員長(アステラス)

WG 3

米国特許出願の情報開示に関する実態調査・研究

知財管理誌へ論説投稿予定

【狙い】

IDSの実態を明らかにし、出願人およびUS審査官の情報開示義務に係る負担を合理的に軽減できる意見を提供

【項目】

- ・出願人がIDSで開示した文献(IDS文献)の“引用文献としての採用率”など、USPTOにおけるIDS文献の活用実態
- ・情報開示義務に対する、JIPA会員企業の対応
- ・序データベースの機能追加に基づく、負担軽減策の提案

【メンバー】 清水(アズビル),岩崎(リコー),亀井(日本電気),四方(富士通),崔(LINE),辻内(ルネサスエレクトロニクス),野村(日本セキカ),矢口(第一三共),吉田(カリコックカレイ),吉田(三菱重工),▼岡本副委員長(富士重工業)

WG 4

米国のTeaching Awayに関する判例の分析

知財管理誌へ論説投稿予定

【狙い】

CAFCの事例から、Teaching Awayの認定基準を明確にする

【項目】

- ・下記類型毎の事例の紹介と、実務担当者への提言
- ・発明を否定する記載の有無
- ・discouraged型、異なる方向型、動作不能型

【メンバー】 白水(ギガフォトン),今津(サールホールディングス),小林(神戸製鋼),仲井(セイコーエプソン),平林(大日本印刷),廣田(三菱電機),村田(三菱レイソウ),山田(豊田自動織機),山名(住友電気工業),▼木下副委員長(日本発條)

WG 5

米国企業の協業戦略と特許ポートフォリオとの相関の分析と考察

知財管理誌へ論説投稿予定

【狙い】

米国の事例から、協業のメリットを活かす特許ポートフォリオの構築の仕方を考え、会員企業への提言につなげる

【項目】

- ・協業で成果を出している事例の抽出
- ・協業を主催した企業の特許ポートフォリオの変遷と協業活動との関係性を分析
- ・分析結果の考察および会員企業への提言

【メンバー】 井口(本田技研),浅井(積水化学),加藤(大日本住友製薬),河村(豊田合成),西城(住友電装),清水(カネカ),藤村(豊田中央研究所),山口(旭化成),栗(楽天),▼小川副委員長(NTT)

その他の活動

1. 外国特許コース
判例概要等を知財管理誌に投稿 (6-8本/月)
2. 来客対応
AIPLA会合でのプレゼン(4/20)
中南米弁護士(10/13)
3. 委員派遣
国際政策PJ、ブラジル審査官研修(10/18)
研修講師(訴訟、うまく取得する方法)
4. 制度変更対応
パブコメ発信、会員企業への解説記事 等